

西小学校保護者の皆様(長子)

瑞穂市立西小学校  
PTA会長 高田 知志

## 瑞穂市のICT教育<sup>※1</sup>とその環境について

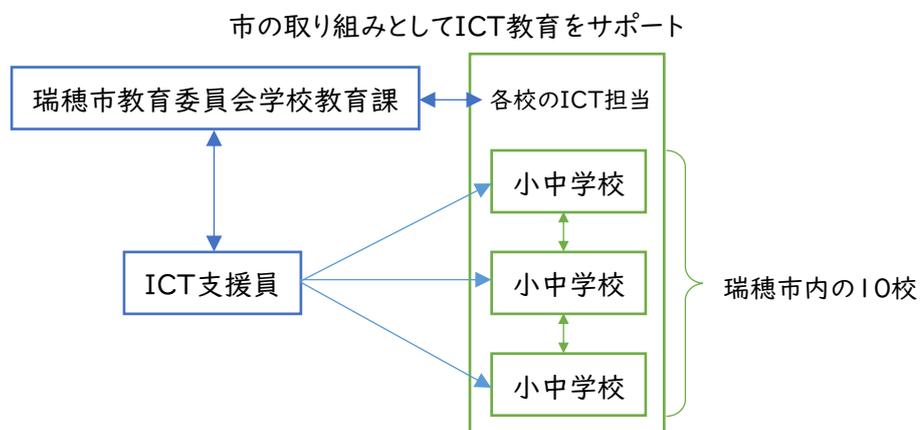
日頃よりPTA活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

子どもたちにひとり1台のタブレットが支給されてから3年目になりました。学校教育ではICTを積極的に取り入れ、ノートと並ぶ「新しい文房具」として学習に活用されています。また、授業以外の委員会活動や発表の場でも使用され、子どもたちの活用の場が増えています。

そこで、瑞穂市のICT教育について保護者の方にも広く知ってもらいたい、把握してもらいたいと思いこのお知らせを配布することにいたしました。

学校では先生方もICT機器やソフトウェアを積極的に取り入れ授業を工夫されています。写真や動画の蓄積や共有をしたり、インターネットを利用して情報を収集・整理・分析したり、それらをxSync(バイシンク)<sup>※2</sup>でリアルタイムに共有をする等、私たち保護者が思っている以上に活用の幅は広がっています。

瑞穂市では、更にこのICT教育に対して、ICT支援員を配置し支援をしています。



先生方はICT支援員に対し、プログラミング教育に関しての相談や、デジタル教科書の有効活用についての相談をすることができます。また情報モラル教育についての助言をいただく等、ICT教育の充実に向けて取り組んでいます。支援員がICTを活用した授業の支援を行うことで先生方の準備にかかる負担を軽減し、子どもたちと接する時間を増やしていくことが可能になります。

今後もICT教育は充実していくでしょう。私たち保護者も情報をアップデートし、家庭教育でもサポートできるように子どもと一緒に学んでいきましょう。

※1 ICT(Information and Communication Technology)教育とは、教育のデジタル化を指します。

電子黒板やタブレットなどの使用や学習支援ツールを活用する教育の総称です。

※2 xSyncとは電子黒板とタブレットをネットワークでつなぎデータを提示できる学習支援ソフトです。